

### 3 事業報告書

## 事業報告書

平成22年度（平成22年4月1日～平成23年3月31日まで）

#### (1) 農作物共済関係 (引 受)

区分	項目 組合名	組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	保険金額	通常歩合額 保険金額	徴収料 保険料	交付金 (納入再保険料)	手持保険料	
		人	a	kg	円	円	円	円	円	円	
水  稲	やまと北部	6,468	237,539	8,260,158	1,640,210,975	1,618,396,169	9,349,202	/	/	/	
	北和	3,375	113,811	4,054,550	803,605,299	795,729,967	3,375,142				
	磯城	3,512	125,214	4,457,706	879,670,249	870,433,711	3,958,515				
	宇陀	2,483	88,019	2,944,339	584,416,041	574,188,760	4,383,120				
	中和	4,432	138,393	4,880,382	970,582,148	959,711,628	4,658,794				
	葛城	4,422	135,999	4,837,730	961,487,200	952,737,666	3,749,799				
	南和	1,853	58,858	1,934,799	384,826,626	379,708,432	2,193,511				
	計	26,545	897,832	31,369,664	6,224,798,538	6,150,906,333	31,668,083				38,720,050
麦  I類	二十一年度	やまと北部	1	444	5,935	362,035	351,988	3,348	/	/	/
		磯城	8	8,282	147,999	9,792,757	9,587,109	68,549			
		中和	1	630	5,377	327,997	318,895	3,033			
		葛城	2	1,556	30,060	1,833,660	1,756,647	25,671			
		計	12	10,911	189,371	12,316,449	12,014,639	100,601			
	二十二年度	やまと北部	1	406	4,430	225,930	219,660	2,089	/	/	/
		北和	3	104	1,397	39,116	38,030	361			
		磯城	8	8,009	131,818	6,722,718	6,581,541	47,059			
		中和	1	551	3,517	179,367	174,390	1,659			
		葛城	2	1,557	26,382	1,345,482	1,288,972	18,836			
計	15	10,628	167,544	8,512,613	8,302,593	70,004	85,427	△ 6,549	78,878		

#### 引受の概況

(水 稲)

平成22年産水稻の作付面積は、9,360haと前年産より20ha増加、収穫量は47,300tと前年産より400t減少した。22年産水稻の生産目標数量が43,630tと21年産より10t増加となった。平成22年産水稻の引受実績については、引受実戸数26,545戸（対前年504戸減）、引受面積897,832a（対前年12,060a増）、引受筆数125,876筆（対前年382筆増）となった。

( 麦 )

平成22年産小麦の作付面積は111ha、収穫量は152tであった。平成23年産麦の引受実績については、引受戸数15戸（対前年3戸増）、引受面積10,628a（対前年283a減）、引受筆数1,096筆（対前年18筆減）であった。なお、北和組合において引受けを再開した。

## (被 害)

区分	項目 組合名	被害組合員数	共 済 減 収 量	共 済 金	保 険 金	共 済 金
						共済金額
		人	kg	円	円	%
水 稲	やまと北部	196	36,034	7,170,766	2,151,229	0.44
	北 和	14	2,185	434,815	130,444	0.05
	磯 城	110	15,754	2,938,396	881,518	0.33
	宇 陀	151	33,656	6,672,589	2,001,776	1.14
	中 和	94	16,628	3,308,972	992,691	0.34
	葛 城	85	6,795	1,352,205	405,661	0.14
	南 和	120	15,317	3,048,083	914,424	0.79
	西吉野村 計	770	126,369	24,925,826	7,477,743	0.40
麦 I 類	やまと北部	0	0	0	0	0.00
	磯 城	5	2,912	177,632	44,408	1.81
	中 和	1	136	8,296	2,074	2.53
	葛 城	2	1,656	101,016	25,254	5.51
	計	8	4,704	286,944	71,736	2.33

## 被害及び評価の概況

(水 稲) 気象被害は、7月中旬から8月下旬の高温による分けつの抑制や8月下旬から10月中旬の高温による粒充実の低下があった。病害は、いもち病や紋枯病の発生があったものの、全般としては平年並みとなった。虫害は、近年飛来の少なかったコブノメイガによる被害の発生が多かったものの全般としては平年並みとなった。その他の被害は、獣害（猪・鹿）の発生が山間部を中心に平年に比べ多くなった。

( 麦 ) 播種期から出芽期の11月中旬から12月にかけて降雨の日が続いたことから、播種時期が12月以降となった圃場（葛城市・田原本町の一部など）においては、出芽不良が見られた。生育中期の1～3月にも降雨の影響を受け、排水不良田や乾きにくい圃場を中心に、湿害による生育不良が発生し減収となった圃場が県内各地で見られた。病害虫の発生については、特に問題となることはなかった。

## (支 払)

区分	項目 支払月日	支払保険金	保 険 金 支 払 財 源				
			再 保 険 金	手持保険料充当額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他
		円	円	円	円	円	円
水 稲	平成22年12月13日	7,477,743	0	7,477,743	0	0	0
麦 I 類	平成22年8月31日	71,736	0	71,736	0	0	0

## (損 害 防 止)

県病害虫防除所の病害虫発生予察情報の配布と、損害防止に関する知識並びに技術の向上を図るための研修会、講習会を開催した。また、組合の行う水稻損害防止事業に対してその経費の一部を負担した。

(2) 家畜共済関係

(引 受)

項目 区分	有資格 頭数	事業計画 頭数	引受頭数	引受頭数	共 済 金 額	保 険 金 額	再保険金額	徴収保険料	組合等 交付金	納入再 保険料	交 付 金	手持保険料	技 術 料
				事業計画 頭数									
	頭	頭	頭	%	円	円	円	円	円	円	円	円	円
乳用牛	4,090	4,000	4,078	102.0	815,229,301	652,183,440	407,614,650	5,576,831			19,490,984	25,067,815	39,015,542
肉用牛	(350) 4,760		(246) 3,410		(8,525,800) 444,471,200						1,567,470	5,658,841	3,143,812
計	8,850	7,360	うち 乳追加 240 うち 肉追加 10 7,488	101.7	(8,525,800) 1,259,700,501						21,058,454	30,726,656	42,159,354

注：( ) 内は胎児の数

引受の概要

配合飼料価格の高騰、枝肉価格の低迷が続き、畜産農家を取り巻く状況は依然厳しく、担い手の減少・高齢化により乳用牛で5戸の廃業があった。引受頭数では、乳用牛で18頭減少となったが、肉用牛では規模拡大等により210頭増加した。

(引 受) 組合別内訳

組合名	乳 牛 の 頭 数			共 済 金 額 円	肉 用 牛 の 頭 数				共 済 金 額 円	合 計		
	成 乳 牛 頭	育成乳牛 頭	乳用子牛等 頭		肥育用成牛 頭	肥育用子牛 頭	その 他 の 頭			共 済 金 額 円	頭 数	共 済 金 額 円
							肉 用 成 牛	肉 用 子 牛 等				
やまと北部	1,318	38		254,738,643	116	2			20,400,000	1,474	275,138,643	
北 和	130	21		21,757,500	100		3	4	21,700,200 (103,400)	258 (2)	43,457,700 (103,400)	
磯 城												
宇 陀	443	35		78,579,000	837		238	221	191,956,000 (6,166,400)	1,774 (164)	270,535,000 (6,166,400)	
中 和	396	16		76,369,500	74				21,742,000	486	98,111,500	
葛 城	628	41		141,230,650						669	141,230,650	
南 和	979	33		242,554,008	1,650	16	69	80	188,673,000 (2,256,000)	2,827 (80)	431,227,008 (2,256,000)	
計	うち追加 229 3,894	うち追加 11 184	うち追加	815,229,301	うち追加 9 2,777	うち追加 1 18	うち追加 310	うち追加 305 (246)	444,471,200 (8,525,800)	うち追加 250 7,488 (246)	1,259,700,501 (8,525,800)	

(事 故)

区 分	項 目	死 廃 事 故				病 傷 事 故			合 計		
		総 頭 数	死 亡	廃 用	支 払 共 済 金	支 払 保 険 金	件 数	支 払 共 済 金	支 払 保 険 金	支 払 共 済 金	支 払 保 険 金
		頭	頭	頭	円	円	件	円	円	円	円
成 乳 牛		309	181	128	56,997,039	45,597,514	3,239	57,845,800	18,448,372	114,842,839	64,045,886
育 成 乳 牛		4	3	1	355,891	284,711	34	321,170	111,184	677,061	395,895
乳 用 子 牛 等											
肥 育 用 成 牛		65	52	13	9,680,505	7,744,379	808	7,228,900	2,892,408	16,909,405	10,636,787
肥 育 用 子 牛		8	8		383,125	306,497	17	94,110	28,264	477,235	334,761
そ の 他 の 肉 用 成 牛		1	1		269,010	215,208	63	527,490	158,568	796,500	373,776
そ の 他 の 肉 用 子 牛 等		16 (16)	15 (15)	1 (1)	495,737 (495,737)	396,583 (396,583)	49 (45)	513,140 (487,260)	161,832 (152,192)	1,008,877 (982,997)	558,415 (548,775)
合 計		403 (16)	260 (15)	143 (1)	68,181,307 (495,737)	54,544,892 (396,583)	4,210 (45)	66,530,610 (487,260)	21,800,628 (152,192)	134,711,917 (982,997)	76,345,520 (548,775)

注： ( ) 内は胎児の数

死 廃 事 故 組 合 別 内 訳

区 分	成 乳 牛		育 成 乳 牛		乳 用 子 牛 等				肥 育 用 成 牛		肥 育 用 子 牛		そ の 他 の 肉 用 成 牛		そ の 他 の 肉 用 子 牛 等				合 計	
	頭 数	共 済 金 保 険 金	頭 数	共 済 金 保 険 金	頭 数	共 済 金 保 険 金	(うち胎児)		頭 数	共 済 金 保 険 金	頭 数	共 済 金 保 険 金	頭 数	共 済 金 保 険 金	頭 数	共 済 金 保 険 金	(うち胎児)		頭 数	共 済 金 保 険 金
組 合 名	頭	円	頭	円	頭	円	頭	円	頭	円	頭	円	頭	円	頭	円	頭	円	頭	円
やま と 北 部	90	16,920,413							7	1,348,872									97	18,269,285
		13,536,298								1,079,096										
北 和	14	1,450,810							2	421,322									16	1,872,132
		1,160,644								337,057										
磯 城																				
宇 陀	24	3,865,346		103,527					11	1,803,664			1	269,010	7	216,581	(7)	(216,581)	44	6,258,128
		3,092,265		82,821						1,442,925				215,208		173,262		(173,262)		5,006,481
中 和	30	5,317,788		252,364					5	1,619,820									38	7,189,972
		4,254,218		201,890						1,295,855										
葛 城	56	9,632,987																	56	9,632,987
		7,706,371																		
南 和	95	19,809,695							40	4,486,827	8	383,125			9	279,156	(9)	(279,156)	152	24,958,803
		15,847,718								3,589,446		306,497				223,321		(223,321)		19,966,982
合 計	309	56,997,039		355,891					65	9,680,505	8	383,125	1	269,010	16	495,737	(16)	(495,737)	403	68,181,307
		45,597,514		284,711						7,744,379	8	306,497		215,208		396,583		(396,583)		54,544,892

平成22年度病傷事故組合別内訳

区分 組合名	成乳牛		育成乳牛		乳用子牛等		(うち胎児)		肥育用成牛		肥育用子牛		その他の肉用成牛		その他の肉用子牛等		(うち胎児)		合計	
	件数	共済金 保険金	件数	共済金 保険金	件数	共済金 保険金	件数	共済金 保険金	件数	共済金 保険金	件数	共済金 保険金	件数	共済金 保険金	件数	共済金 保険金	件数	共済金 保険金	件数	共済金 保険金
やまと北部	992	16,843,820 5,734,854	3	17,350 5,000					20	136,670 44,416	1	14,730 2,248	1	23,700 7,440	1	14,130 3,920	(1)	(14,130) (3,920)	1,018	17,050,400 5,797,878
北和	139	2,348,060 805,970							42	530,880 191,512			4	30,670 8,392					185	2,909,610 1,005,874
磯城																			0	0 0
宇陀	423	6,500,430 2,174,964	18	179,650 63,360					514	4,033,690 1,769,624			39	355,040 105,528	24	244,620 77,680	(20)	(218,740) (68,040)	1,018	11,313,430 4,191,156
中和	295	5,220,230 1,455,664	2	32,500 11,496					15	139,970 48,928									312	5,392,700 1,516,088
葛城	511	11,309,430 3,672,652	5	58,480 22,672															516	11,367,910 3,695,324
南和	879	15,623,830 4,604,268	6	33,190 8,656					217	2,387,690 837,928	16	79,380 26,016	19	118,080 37,208	24	254,390 80,232	(24)	(254,390) (80,232)	1,161	18,496,560 5,594,308
合計	3,239	57,845,800 18,448,372	34	321,170 111,184	0	0	(0)	(0)	808	7,228,900 2,892,408	17	94,110 28,264	63	527,490 158,568	49	513,140 161,832	(45)	(487,260) (152,192)	4,210	66,530,610 21,800,628

事故の発生状況

- (死 傷) 乳用牛では前年度に比べて4頭減少したが、死亡事故が前年度に比べて30頭増加したため、支払共済金では1,211,709円の増加となった。  
肉用牛では前年度に比べて13頭増加し死亡事故も前年度より11頭増加したため、支払共済金でも1,785,609円の増加となった。  
病類別では、乳用牛はダウン症候群・乳房炎・関節炎、また肉用牛では心不全・急性鼓脹症・肺炎が上位を占めた。
- (病 傷) 乳用牛では前年度に比べて101件減少し、支払共済金で2,484,000円の減少となった。  
肉用牛では前年度に比べて5件減少し、支払共済金で1,517,870円の減少となった。  
病類別では、乳用牛は乳房炎・黄体遺残・第一胃食滞、また肉用牛では気管支炎・肺炎・第一胃食滞が上位を占めた。

## (損害防止)

実施種類	項目	実施期日	対象頭数 又は回数	重点事項
健康検査		平成22年4月～平成23年3月	頭(回) 7,488	飼養管理指導
特定疾病損害 防止		平成22年11月～平成23年3月	543	乳用牛…繁殖障害・乳房炎・運動器疾患の疾病に対し実施組合と連携を図り費用対効果を考慮しつつ効率的に実施した。
一般損害防止		平成22年4月～平成23年3月	7,488	乳用牛・肉用牛では、国内で10年ぶりに発生した口蹄疫対策として消毒薬(クレンテ)を配布した。消化器疾患予防に漢方配合胃腸薬(中森獣医散)の配布と飼料給与指導を行った。乳用牛では、産前産後の股開き予防のため足バンド(カウホップル)と乳房炎の早期発見のため検査試薬(PLテスター)を配布し指導した。

## (診療所)

職員数	有資格頭数	加入頭数	診療件数		損害防止事業		その他の事業	
			共済事故	事故外	実施内容	頭数	実施内容	回数
人	頭	頭	件	件		頭		回
5	8,850	7,488	3,483 (45)	1,095	特定疾病検査指導・薬品等配布	8,031		

( ) 胎児又は出生子牛

## (3) 果樹共済関係

(引 受)

年度	果樹共済 再保険区分	項目 組合名	組合員数	引受面積	標準収穫量 又は共済価額	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金	手持保険料
			人	a	kg	円	円	円	円	円
平成二十一年度	かき減収総合 一般方式	やまと北部	延 60	1,581.6	186,282	24,877,000	23,815,000	613,217	/	/
			実 59							
		中 和	延 27	628.9	45,824	6,290,000	6,023,178	183,357		
	実 23									
南 和	延 837	59,756.3	8,019,093	1,008,952,000	963,972,919	28,926,652				
	実 551									
	計	延 3	延 924	61,966.8	8,251,199	1,040,119,000	993,811,097	29,723,226	7,337,837	37,061,063
		実 3	実 633							
平成二十二年度	かき減収総合 一般方式	やまと北部	延 56	1,479.7	186,052	22,184,000	21,224,985	451,444	/	/
			実 55							
		中 和	延 29	667.0	50,712	6,364,000	6,097,475	184,237		
	実 24									
南 和	延 824	60,057.6	8,671,085	1,086,323,000	1,038,188,027	24,507,647				
	実 536									
	計	延 3	延 909	62,204.3	8,907,849	1,114,871,000	1,065,510,487	25,143,328	13,626,234	38,769,562
		実 3	実 615							
二十一年度	うめ減収総合 一般方式	南 和	延 234	11,768.6	910,497	82,011,000	78,155,662	2,229,058	/	/
			実 234							
	計	延 1	延 234	11,768.6	910,497	82,011,000	78,155,662	2,229,058		
		実 1	実 234							
二十二年度	うめ減収総合 一般方式	南 和	延 232	11,913.1	831,647	69,343,000	66,101,907	1,917,390	/	/
			実 232							
	計	延 1	延 232	11,913.1	831,647	69,343,000	66,101,907	1,917,390		
		実 1	実 232							

## 引受の概況

(かき) 栽培農家の高齢化による後継者不足と販売価格の低迷による離農等で戸数は減少したが、栽培規模拡大等があり面積は増加した。

(うめ) 販売価格の低迷と不作続きで生産意欲の減退等により後継者不足による離農等があり、戸数は減少したが面積は規模拡大等で増加した。

( 被 害 )

果樹共済再保険区分	項目		被害組合員数	認定減収量	共 済 金	保 険 金	共 済 金 共 済 金 額
	組合名						
かき減収総合 一般方式	やまと北部	延	41	44,852	2,025,790	1,649,326	8.1
		実	40				
	中 和	延	11	7,040	478,740	386,256	7.6
		実	11				
	南 和	延	328	1,992,756	163,654,780	144,034,615	16.2
		実	266				
計	延	380	2,044,648	166,159,310	146,070,197	16.0	
実	317						
うめ減収総合 一般方式	南 和	延	156	369,594	25,233,010	23,081,012	30.8
		実	156				
	計	延	156	369,594	25,233,010	23,081,012	30.8
実	156						

被害及び評価の概況

(か き) 暖冬傾向の中平均気温が発芽期は各品種とも平年より約1週間早まった。奈良県全域で3月27日極端な低温及び降霜があり、展葉直前の新芽(花芽含む)が凍り、枯死した。4月25日にも奈良県全域に晩霜があり新梢が被害を受けて枯死し、着花数が極端に減少した。又、6月中旬から7月中旬の梅雨期には、連日降雨が続き日照不良による異常な生理的落果が多く、多くの園で見られ、極端な減収となり異常災害となった。

(う め) 1月下旬から2月の気温上昇がうめの開花を促進し、平年よりどの品種も開花が1週間程度早かった。開花期間中にミツバチの巣箱は置かれたものの、低温と曇雨天続きで、ミツバチが十分に活動できなかったため、ほぼ全域で受粉状態が悪かった。又、3月27日、4月25日は極端な低温と降霜により、うめの果実(幼果)が凍り、低温障害により果実の萎凋や落果が多く、多くの園で見られ異常災害となった。

(支 払)

果樹共済再保険区分	項目	支払年月日	実支払保険金	保 険 金 支 払 財 源					実支払保険金 保 険 金
				再 保 険 金	手持保険料 充 当 額	法定積立 金充当額	特別積立 金充当額	そ の 他	
かき減収総合 一般方式		平成23年3月24日	円 146,070,197	円 99,195,607	円 37,061,063	円 9,813,527	円 0	円 100.0	
うめ減収総合 一般方式		平成22年10月5日	円 23,081,012	円 18,059,685	円 3,410,017		円 1,611,310	円 100.0	

( 損害防止 ) 県病害虫防除所の病害虫発生予察情報を各組合へ配布した。

## (4) 畑作物共済関係

(引 受)

年度	再保険 区分	共済 目的	類区 分	組合名	組合員数	引受面積	引受収量又は 基準生産金額	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金又は 納入再保険料	手持保険料			
平成 二十 二 年 度	一筆 単 位 方 式	大豆	1	やまと北部	人 1	a 425.1	kg(円) 4,737	円 729,498	円 656,548	円 13,532	円	円			
				磯 城	5	2,550.1	31,995	5,130,210	4,617,189	95,167					
				計	6	2,975.2	36,732	5,859,708	5,273,737	108,699					
			2	磯 城	2	55.0	503	527,144	474,429	9,779					
				宇 陀	48	1,399.1	13,928	14,596,544	13,136,890	270,782					
				中 和	12	261.5	2,195	1,725,270	1,552,743	32,004					
				計	62	1,715.6	16,626	16,848,958	15,164,062	312,565					
			合 計					68	4,690.8	53,358			22,708,666	20,437,799	421,264
平成 二十 一 年 度	半相 殺 方 式	茶	1	やまと北部	-	-	-	-	-	-	円	円			
					2	5	678.0	26,689	9,341,150	8,407,035			127,506		
					3	-	-	-	-	-			-		
					4	4	316.0	12,262	4,291,700	3,862,530			117,164		
					計	延 実	9 6	994.0	38,951	13,632,850			12,269,565	244,670	
			1	計	-	-	-	-	-	-					
					2	5	678.0	26,689	9,341,150	8,407,035			127,506		
					3	-	-	-	-	-			-		
					4	4	316.0	12,262	4,291,700	3,862,530			117,164		
					計	延 実	9 6	994.0	38,951	13,632,850			12,269,565	244,670	46,450
			共災 済 害 方 収 式 入	茶	やまと北部	24	4,756.6	81,870,705	65,483,000	58,934,700			1,145,959	円	円
					計	24	4,756.6	81,870,705	65,483,000	58,934,700			1,145,959		
			合 計					延 実	33 30	5,750.6			-	79,115,850	71,204,265

年度	再保険 区分	共済 目的	類区 分	組合名	組合員数	引受面積	引受収量又は 基準生産金額	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金又は 納入再保険料	手持保険料		
					人	a	kg (円)	円	円	円	円	円		
平成 二十 二年 度	半相殺 方式	茶	1	やまと北部	-	-	-	-	-	-	-	-		
			2		3	424.0	14,844	5,343,840	4,809,456	72,945	-	-		
			3		-	-	-	-	-	-	-	-		
			4		2	67.0	2,350	846,000	761,400	23,096	-	-		
			計		延 実	5 3	491.0	17,194	6,189,840	5,570,856	96,041	-	-	
			1	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			2		3	424.0	14,844	5,343,840	4,809,456	72,945	-	-		
			3		-	-	-	-	-	-	-	-		
			4		2	67.0	2,350	846,000	761,400	23,096	-	-		
			計		延 実	5 3	491.0	17,194	6,189,840	5,570,856	96,041	18,608	114,649	
	災害 共済 方式入	茶	やまと北部	19	4,115.7	64,596,424	51,670,000	46,503,000	904,230	-	-			
			計	19	4,115.7	64,596,424	51,670,000	46,503,000	904,230	139,763	1,043,993			
		合 計	延 実	24 22	4,606.7	-	57,859,840	52,073,856	1,000,271	158,371	1,158,642			

#### 引受の概況

(大豆) 平成22年産白大豆の引受面積は播種期の天候不順等により計画通り播種できなかったため、前年より176a減少し2,975aとなった。  
黒大豆は宇陀農業共済組合で新規加入(5戸)があったため、前年より206a増加し1,716aの引受となった。  
県合計の引受面積は、30a増加の4,691aとなった。

(茶) 高齢化及び後継者不足による離農のため、災害収入共済方式で641a減少し4,116a、半相殺方式で503a減少し491aとなった。  
県合計の引受面積は1,144a減少し4,607aとなった。

## (被 害)

再保険区分	共 済 的	類区分	組 合 名	被害組合員数	共済減収量 又は 共済減収金額	共 済 金	保 険 金	共 済 金 共済金額
一筆単位方式	大 豆	1 類	やまと北部	人	kg (円)	円	円	%
			磯 城	1	404	62,216	55,994	8.5
			計	4	4,414	679,756	611,780	13.3
		2 類	磯 城	5	4,818	741,972	667,774	12.7
			宇 陀	2	136	142,528	128,275	27.0
			中 和	31	2,701	2,830,648	2,547,583	19.4
			計	10	461	362,346	326,111	21.0
計	43	3,298	3,335,522	3,001,969	19.8			
半相殺方式	茶	1 類	やまと北部	-	-	-	-	-
		2 類		2	402	140,700	126,630	1.5
		3 類		-	-	-	-	-
		4 類		4	591	206,850	186,165	4.8
		計	延実	6	993	347,550	312,795	2.5
		1 類	計	-	-	-	-	-
		2 類		2	402	140,700	126,630	1.5
		3 類		-	-	-	-	-
		4 類		4	591	206,850	186,165	4.8
		計	延実	6	993	347,550	312,795	2.5
災害収入共済方式	茶	やまと北部	10	2,445,656	2,445,096	2,200,586	3.7	
		計	10	2,445,656	2,445,096	2,200,586	3.7	

## 被害及び評価の概況

(大 豆) 播種時期の6月中下旬には降雨の日が多く、播種作業の遅れた圃場が多く見られ、7月に入っても降雨の日が続いたため、湿害による発芽不良及び生育不良が見られた。8月の開花期以降は、高温少雨の状況が続き高温乾燥で推移したため、落花・落莢が多く着莢数の減少によりかなりの減収となった圃場が多く見られた。また、中山間地域においては、イノシシやシカによる被害が深刻で大きな減収となった圃場も見られたほか、平坦地域では出芽直後に子葉が食害される鳥害も見られた。以上の経緯により、異常災害となった。

(茶) 4月上旬までの高温により、例年より3日程度萌芽は早まったが、それ以降の低温により生育は緩慢になった。また、4月下旬までの度重なる寒波により、それまで順調に生育した新芽が低温及び降霜被害を受けた。防霜施設のない圃地だけでなく、地域によっては防霜施設があっても新芽が枯死するなど甚大な影響がみられ、一般的に減収となり、災害収入共済方式は異常災害となった。

再保険区分	共 済 的	支 払 月 日	実支払保険金	保 険 金 支 払 財 源					実支払保険金 保 険 金
				再保険金	手持保険料 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	そ の 他	
一筆単位方式	大豆	平成23年3月28日	円 3,669,743	円 2,418,381	円 966,675	円 -	円 168,987	円 115,700	% 100.0
半相殺方式	茶	平成22年9月15日	312,795	-	291,120	21,675	-	-	100.0
災害収入共済方式	茶	平成22年9月15日	2,200,586	578,882	1,323,085	-	-	298,619	100.0

## (5) 園芸施設共済関係

(引 受)

施設区分	項目	組合数	組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金又は 納入再保険料	手持保険料
ガラス室	I類	1	1	2	3.81	1,133	905	815	1,613	1,415	3,028
ガラス室	II類	6	42	53	461.40	212,336	169,846	152,861	114,897	103,915	218,812
プラスチックハウス	I類										
プラスチックハウス	II類	7	1,097	4,382	12,105.38	955,460	762,588	686,329	10,629,237	2,001,134	12,630,371
プラスチックハウス	III類	7	72	113	1,556.47	278,546	222,774	200,497	1,387,006	898,939	2,285,945
プラスチックハウス	IV類甲	7	40	63	387.05	73,233	58,564	52,708	485,584	312,978	798,562
プラスチックハウス	IV類乙	7	13	21	115.65	31,872	25,491	22,942	126,401	53,435	179,836
プラスチックハウス	V類	6	19	31	260.88	105,074	84,048	75,643	116,604	98,733	215,337
プラスチックハウス	VI類	5	158	1,100	2,029.94	129,148	102,863	92,577	1,886,415	1,393,236	3,279,651
プラスチックハウス	VII類	1	2	3	27.09	1,434	1,146	1,031	11,214	8,279	19,493
計		実 7	1,444	5,768	16,947.67	1,788,236	1,428,225	1,285,403	14,758,971	4,872,064	19,631,035

## 引受の概況

施設園芸農家の高齢化及び後継者不足等による離農・規模縮小等の中、役職員等による未加入農家への加入推進により新規123棟、増設等により114棟の計237棟の新規加入があったが、県下全域で離農等により26戸、274棟の減少となった。

(引 受)

組合名	項目	組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	保険金額	徴収保険料
やまと北部		418	1,317	3,965.64	314,854	251,373	226,236	2,753,876
北和		257	679	2,685.35	355,147	283,834	255,451	2,096,322
磯城		224	772	2,449.64	226,370	180,786	162,707	2,606,755
宇陀		278	2,193	4,283.36	341,023	271,899	244,709	3,971,517
中和		118	295	1,088.30	141,615	113,174	101,857	997,056
葛城		80	293	1,028.32	162,901	130,206	117,185	1,076,816
南和		69	219	1,447.06	246,326	196,953	177,258	1,256,629
計		1,444	5,768	16,947.67	1,788,236	1,428,225	1,285,403	14,758,971

## (被 害)

施設区分	被 害			損害の額	共 済 金	保 険 金	共 済 金 共済金額
	項目	組合数	組合員数				
ガラス室 I類			人	棟	円	円	%
ガラス室 II類							0.00
プラスチックハウス I類							0.00
プラスチックハウス II類	7	145		252	14,566,034	11,611,478	10,450,213
プラスチックハウス III類	4	9		10	911,380	729,026	656,119
プラスチックハウス IV類甲	1	1		1	125,524	100,419	90,377
プラスチックハウス IV類乙							0.00
プラスチックハウス V類							0.00
プラスチックハウス VI類	4	25		68	3,471,778	2,765,027	2,488,494
プラスチックハウス VII類							0.00
計	実 7	180		331	19,074,716	15,205,950	13,685,203

## 被害の概況

12月下旬から1月上旬にかけて、強い寒気の影響により山間部を中心に大雪が降り、被覆物及び本体に被害を受けた。県下で被害戸数47戸、被害棟数137棟、支払共済金8,827千円となった。22年度全体としては、被害戸数180戸、被害棟数331棟、支払共済金15,206千円となった。

## (被 害)

組合名	被 害		被害棟数	共済価額	共済金額	損害の額	支払共済金	支払保険金	再保険金
	項目	組合員数							
やまと北部	人	棟		千円	千円	円	円	円	円
北和	54	80		19,249	15,368	3,014,780	2,405,272	2,164,708	300,856
磯城	15	23		10,348	8,268	1,401,096	1,118,127	1,006,305	108,414
宇陀	25	35		6,573	5,245	1,465,174	1,167,605	1,050,831	245,791
中和	58	153		21,268	16,949	10,145,322	8,082,047	7,273,768	3,384,355
葛城	14	19		9,916	7,925	1,912,824	1,528,384	1,375,538	455,241
南和	4	4		993	792	196,042	156,283	140,653	0
計	10	17		13,395	10,708	939,478	748,232	673,400	251,607
	180	331		81,742	65,255	19,074,716	15,205,950	13,685,203	4,746,264

## (損害防止)

共済事故を未然に防ぎ、経営の安定と組合員負担の軽減を図ることを目的に、気象情報の提供を行い被害の未然防止に努めるとともに、組合の行う損害防止事業に対し経費の一部を負担した。

## (支 払)

実支払保険金	保 険 金 支 払 財 源					実支払保険金 保 険 金
	再保険金	手持保険料充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	そ の 他	
円	円	円	円	円	円	%
13,685,203	4,746,264	8,938,939	0	0	0	100.0

(6) 任意共済関係

1. 建物共済

(引 受)

(1) 農 家 建 物

項目 組合名	加入棟数	保 険 金 額 (共 済 金 額) 万円	保 険 料 (共 済 掛 金)		1 棟 当 たり 平 均 保 険 (共 済) 金 額 万円	再 共 済 掛 金 円	再 共 済 手 数 料 収 入 円
			純 保 険 料 (純 共 済 掛 金) 円	賦 課 金 円			
やまと北部	17,939	22,053,199	97,193,109	11,085,329	1,229		
北 和	6,467	4,835,152	24,162,050	2,534,808	748		
磯 城	7,029	3,828,804	18,718,658	2,011,196	545		
宇 陀	7,096	6,856,867	36,718,997	3,769,758	966		
中 和	9,512	6,878,635	34,044,375	3,655,187	723		
葛 城	5,312	4,533,101	23,054,356	2,338,164	853		
南 和	5,544	4,315,454	23,370,460	2,405,523	778		
計	58,899	53,301,212	257,262,005	27,799,965	905	133,026,681	50,521,810

共 済 掛 金 等 443,450,731 円 再 共 済 割 合 30%  
再 共 済 手 数 料 割 合 火 災 38.00 % 総 合 38.00 %

引 受 の 概 況

昨年度に引き続き、近年の異常気象や南海地震に対する備えから総合共済の増加傾向は続き、共済金額は26億7,283万円増の386億1,988万円となった。火災共済は、総合共済への移行や継続漏れにより18億332万円減少の4,943億9,224万円となった。

総共済金額は、8億6,951万円増の5,330億1,212万円、総戸数で298戸減の35,944戸、棟数で758棟減の58,899棟となった。

1棟当たりの共済金額は前年度を13万円上回る905万円となった。

(2) 団 体 建 物

加入棟数	共 済 金 額 万円	共 済 掛 金		1 棟 当 たり 平 均 共 済 金 額 万円
		純 共 済 掛 金 円	賦 課 金 円	
棟 13	31,450	136,686	61,479	2,419

引 受 の 概 況

各組合とも再建築価額に近い加入となっているため、今年度は前年と同額となった。

(事 故)

(1) 農家建物

組合名	項目	事故棟数	加入総保険金額 (共済金額) (イ) 万円	支払保険 (共済) 金 (ロ) 円		再共済金 円	被害率 (ロ) / (イ) %
				火 災	風 水 害		
やまと北部		61	22,053,199	26,864,498	221,569	8,125,798	0.0123
北和		18	4,835,152	1,665,612	5,789	501,411	0.0035
磯城		20	3,828,804	3,535,307	818,661	1,306,183	0.0114
宇陀		69	6,856,867	19,236,232	998,981	6,070,535	0.0295
中和		15	6,878,635	1,894,873	667,517	768,710	0.0037
葛城		14	4,533,101	5,023,993	708,125	1,719,629	0.0126
南和		26	4,315,454	5,738,164	7,167,748	3,871,762	0.0299
計		223	53,301,212	63,958,679	10,588,390	22,364,028	0.0140

支払の概況

今年度の総事故棟数は223棟、総支払共済金は7,455万円となった。

今年度は、全焼事故が8棟、支払共済金で2,951万円となり、総支払共済金の40%を占める結果となった。全焼事故の原因は漏電、その他の火の粉などとなっている。

事故原因別のトップは、落雷で130棟が被害を受け、総事故棟数の58%を占め、本年は、例年になく年末から雪の降る日が多かったことから、雪による被害が16棟あり、事故原因の2位となった。続いて、車両の飛び込み等12棟となった。

(2) 団体建物

事故棟数	加入共済金額 (イ) 万円	支払共済金 (ロ) 円	被害率
			(ロ) / (イ) %
棟 0	万円 0	円 0	% 0.0000

支払の概況

今年度、無事故。

2. 農機具共済  
(引 受)

(1) 農機具損害共済

組合名	項目	加入台数	保険金額 (共済金額)	保険料(共済掛金)		1台あたり平均 保険(共済)金額
				純保険料	賦課金	
		台	万円	円	円	万円
やまと北部		134	32,649	1,295,470	105,204	244
北和		87	14,550	565,892	45,956	167
磯城		31	5,653	224,820	18,259	182
宇陀		43	7,949	316,130	25,677	185
中和		17	1,945	77,353	6,282	114
葛城		5	1,180	46,930	3,810	236
南和		116	27,738	1,099,423	89,294	239
計		433	91,664	3,626,018	294,482	212

引受の概況

全国的には、まだまだ低位な引受実績ではあるが、農機具も大切な財産の一つであり農機具共済への加入が必要であると理解されはじめ、引受台数は59台増の433台、共済金額は1億2,764万円増の9億1,664万円の引受となった。

(事 故)

(1) 農機具損害共済

組合名	項目	事故台数	加入総保険金額 (共済金額) (イ)	支払保険(共済)金 (ロ)	被害率 (ロ)/(イ)
		台	万円	円	%
やまと北部		19	32,649	1,878,025	0.5752
北和		2	14,550	37,176	0.0256
磯城		3	5,653	113,561	0.2009
宇陀		0	7,949	0	-
中和		0	1,945	0	-
葛城		0	1,180	0	-
南和		6	27,738	437,138	0.1576
計		30	91,664	2,465,900	0.2690

支払の概況

稼働中の接触などで30台が損傷し、247万円の共済金を支払った。

被害機種は、乗用茶刈機(15台)、トラクター(7台)、スピードスプレー(4台)コンバイン(3台)、付属装置(1台)であった。